

Public Relations

広報いちのへ

Ichinohe 12

Dec.
2020
No.701

いぎうね
コンコン
♪



Contents _ 目次

02	いちのへ再発見 / 環境コラム
04	【特集】 地域包括ケアシステムを支える 在宅医療
14	各分野で喜びの声 秋の叙勲など
15	保健だより
16	まちの話題 オンラインで横浜市との連携強化、一戸幼稚園生活発表会など
18	Sports Topics 一戸高校なぎなた部、一戸町剣道 スポーツ少年団、サンビレRC、 一戸・奥中山中学校野球部
22	まちのお知らせと情報
23	一戸高校の魅力を紹介『#桜陵』
24	NPO通信 御所野縄文博物館 / 運動公園 / コミセン & 図書館通信
26	文化財巡り / 文芸 / 町長メッセージ / おたより / 広報クイズ
28	お知らせ
30	Photo Topics 御所野縄文WEEK
24	Pickup News/ 編集後記など



師走 しわす
いちのへ再発見
御所野縄文ウィーク・打上花火
御所野縄文公園（十一月八日・午後六時五十五分）

今月の表紙



一戸幼稚園の生活発表会でかぐや姫を演じた小野寺福音ちゃん（5歳）。在園児5人の中で福音ちゃんはただひとりの女の子。色鮮やかな着物に身を包み、キーボードを演奏する姿は、まさに現代のかぐや姫。上手に「こぎつね」を演奏しました。（12月5日、関連17頁）

鎖（ロックダウン）など、経済活動の停滞によるものが大きな要因といわれています。新型コロナウイルスは、新しい働き方をはじめ、私たちの生活様式に変化をもたらしました。脱炭素社会へのターニングポイントは今かもしれません。持続可能な社会を目指し、新たな生活様式とともに新年を迎えましょう。

図 水環境課（内線226）

環境コラム

いつもと違う冬

0 ゼロへの一歩
みんなで一歩

国内の新型コロナウイルス（以下「新型コロナ」）感染者は、12月5日時点で累計16万人を超えました。一刻も早い終息を願うばかりです。しかし、悪いニュースばかりではありません。パリ協定では、参加国の合計二酸化炭素排出量を毎年7.6%削減する必要があるとしています。今年には8%以上減少する見込みです。世界中の都市封

このコーナーでは、「2050年二酸化炭素排出実質ゼロ」を町民の皆さんと一緒に取り組んでいくための情報をお届けします。



【特集】地域包括ケアシステムを支える 在宅医療

「いつまでも我が家で自分らしく過ごしたい」

そんな思いを叶えるのが『在宅医療』。

安心して自宅での療養生活が送れるように、医療・介護などさまざまな専門職が連携し、患者さんとその家族を支える取り組みが進められています。

現

在日本は、諸外国に例をみないスピードで高齢化が進行しています。

当町の高齢化率（65歳以上の割合）は、11月末現在で42%を超え、日本全体の高齢化率（※1）約28%を大きく上回っています。国の推計（※2）によると、当町の高齢化率は年々上昇し、2040年には50%を超え、その後も増え続けると予想されています。さらに、高齢者のみで構成される世帯も増えており、全国各地で老老介護によるトラブルや悲しいニュースが後を絶ちません。

このような状況で、今後とも増え続ける医療や介護の需要。年齢を重ね介護を必要とする状態になっても、可能な限り住み慣れた場所で、自分らしい生活を送るための基盤づくりや地域に合った仕組みを確立することが必要となっています。

町では、平成26年12月に「一戸町地域包括ケアシステム検討委員会」を立ち上げました。同委員会では、医療や介護、福祉など多様な職種が連携し、高齢者などへ一体的にサービスが提供できる仕組みづくりに取り組んでいます。その成果として、今年10月に「一戸町訪問助け合いボランティアすける、S」が結成されました。

同ボランティアは、高齢者への生活支援のみならず子育て世代や障がい者など、支援を必要とする地域住民を対象とした活動も見据え、地域福祉を支える大きな力になることが期待されます。

平成29年2月には、住み慣れた地域で在宅医療と介護サービスの提供体制を構築するため、「一戸町在宅医療推進会議」も設置。現在も継続して医師や看護師、薬剤師などの医療関係者が集まり、在宅医療と介護連携に向けた意見や情報交換を行っています。

この特集では、町民に寄り添い訪問診療を行う医師と、住み慣れた自宅でさまざまなサポートを受けながら夫婦仲良く暮らす町民の姿をお伝えします。

※1 「人口推計（令和2年6月確定値）」総務省統計局

※2 「日本の地域別将来推計人口（平成30年推計）」国立社会保障・人口問題研究所

Interview

訪問診療を行っている
医師に話を聞きました



一戸町在宅医療推進会議 医科部会長
松井 美紀夫さん
(松井内科医院 院長)

開業以来、当院で初診から在宅医療を行った患者は数名しかいません。長く外来へ通院していただき、お歳を召されて足腰が悪くなったり、脳卒中、がんなどの疾患により、やむを得ず寝たきりになった患者さんを最期まで診るという姿勢で診療に当たってきました。しかしながら、6年前に、看護師不足などにより入院施設を閉鎖せざるを得なくなっていました。

在宅医療を希望する患者さんは、2000年に介護保険が導入されてから激減し、今では施設入所までの間を取り持つことが多くなりました。自宅最後まで迎えることを希望する患者さんもいます。が、症状が急変して病院に助けを求めるケースもあります。老衰で医学的に診て不治と判断した場合は、自宅です。

在宅医療や在宅介護は、患者さんの症状が安定しているときは良いのですが、昼夜の介護にあたる家族に負担がかかります。医療費や介護保険の費用が高くなっています。訪問介護や訪問看護などの介護保険サービスを上手に利用し、介護に当たる家族の負担を減らすことが大切です。



『在宅医療』が叶える自分らしい生活

カシオペア地域版・終活ノート 事前指示書『HOTARU (ほたる)』

カシオペア地域医療福祉連携研究会事務局
☎ 23-2191 (二戸病院地域医療福祉連携室内)

突然の病気や認知症などによって、自分の意思を伝えることができなくなってしまう場合に備え、事前指示書『HOTARU』というものがあります。事前指示書は、終活ノートと同じようなもので、自分が寝たきりになったときや最後を迎えるときに、どのように対応してもらいたいのかという思いや希望を書き記しておくものです。終末期や施すべき有効な治療が無いと判断

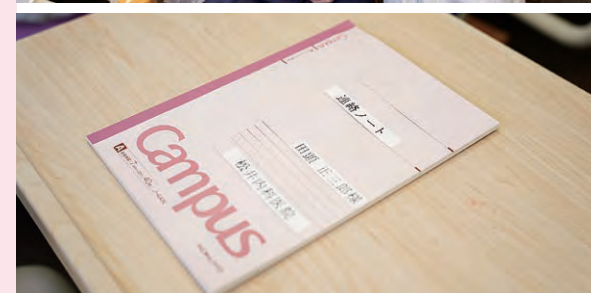
され、本人が意思表示できなくても、書かれている内容を「本人の意志」として、その後の治療に役立てることができます。気持ちに変化があったときには、書き換えることもできます。家族やかかりつけ医、ケアマネジャーなどと相談しながら、誰にでもいつかは訪れる「終末期」を意識するきっかけとして活用してほしいと思います。



二戸管内の医療機関などで入手できます



カシオペア地域医療福祉連携研究会
高橋 浩さん
(県立二戸病院 副院長)



松井先生が在宅医療で使用する「連絡ノート」。検査結果の用紙が貼られたり、患者一人ひとりへのアドバイスなどが書き込まれたりしている

多くの専門職が連携して取り組む『在宅医療』
在宅医療とは、医師をはじめ、歯科医師、薬剤師、訪問看護師、理学療法士、ケアマネジャー、ホームヘルパーなど多くの専門職が連携して定期的に患者のご自宅などを訪問し、治療やケアを行うものです。

その一方で在宅医療では、患者本人だけではなく、家族の協力と心構えが必要です。入院治療での日常のケアは看護師が行いますが、在宅医療では食事や服薬の世話など家族のサポートも重要になります。緊急時の不安をできる限り解消するための工夫も必要です。普段からかかりつけ医と連携できる体制を整えることや24時間対応の訪問看護サービスの活用も大切です。患者さんが少しでも幸せな療養生活を送るため、在宅医療について基本を知ることから始めてみましょう。



正三郎さんの手を握り歩行を手伝う孫のゆうさん

と、自宅の事務所に使っていたスペースのリフォームもした。毎月1回、定期的に通うかかりつけ医には、近所ということもあり、貞子さんが車いすを押して連れて行った。しかし、貞子さんも年齢的には高齢者。体力に限界を感じていた。そんなとき、かかりつけ医の先生から訪問診療の提案があった。貞子さんは「ありがたい話でした。きっと先生が私のことを案じて、そう言ってくれたんだと思います」振り返り、「通院しているときよりも先生との距離が近く感じられ、相談もしやすい。医療と離れた話もできて、介護する側も気持ちが悪くなりません」と笑みを浮かべます。

正三郎さんは、訪問診療以外にも町内の介護施設で週2回のデイサービスや、月1回のショートステイを利用している。そのほかにも町外の介護施設による訪問リハビリや介護用品のレンタルを利用。これらを利用するに至ったのは、利用者とサービスをつなぐ、ケアマネジャーさんのおかげだという。

両親の介護も経験した貞子さんだが「医療や介護の制度は複雑で素人には難しい。でも、ケアマネジャーさんが適切なサービスにつなげてくれる。本当に頼りになります」と担当のケアマネジャーに心から信頼をおいている。

正三郎さんは「本当はつらいだろうに。俺が動けないから、我慢してやってくれている」と涙ぐむ。その言葉に対し貞子さんは「一番つらいのは本人。何があっても最後まで頑張ろうと思っています」と温かい言葉で包み込んだ。

貞子さんも同じだ。そして今、医療従事者や介護従事者、家族、これらをつなぐケアマネジャーなどたくさんの人たちがチームとなり二人の暮らしを支えている。「私たちは本当に幸せだ」

正三郎さんは、はっきりとそう言い、隣にいる貞子さんは穏やかな表情を浮かべながらうなずいた。

二人は、自宅で暮らせる喜びを噛み締めながら、これからも思い出が詰まったこの家で過ごしたいと願っている。

STORY

「いつまでも我が家で自分らしく過ごしたい」
そんな願いを叶える『在宅医療』。
家族やさまざまな専門職に支えられながら、
自宅で療養している二人を紹介します。



夫・田頭正三郎さん

妻・田頭貞子さん

「最後までこの家で、
一緒に過ごしたい」

「俺 よりも妻の方が大
変なんだ」と妻を
気遣うのは、今年7月から自
宅で訪問診療を受けている田
頭正三郎さん（90）と一戸本
町。正三郎さんは、58歳で法務
局を退職後、現在の自宅で司
法書士事務所を開設。「生ま
れ育ったこの町に恩返ししが
たい」という思いで司法書士
としての仕事の傍ら、町の人
権擁護委員なども長期にわた
り務めた。

「歩くのがつらくなつてね」
正三郎さんの体調に変化が
訪れたのは今から3、4年前
のこと。妻・貞子さん（85）
と二人で外出しているときに
転倒し、起き上がれなくなる
こともあったという。その後
も症状が良くなることはな
く、医師からは「パーキンソ
ン様」（パーキンソン病の様
な症状）と診断され、2年ほ
ど前に要介護の認定を受け
た。司法書士の仕事もできな
くなってしまった。

思うように手足が動かなくな
ってしまった正三郎さんが
少しでも生活しやすいように



毎週金曜には町外施設の訪問リハビリを利用。貞子さんも会話を楽します

在宅医療

一戸町訪問助け合いボランティア『すける's』が発足



日常生活に支援が必要な高齢者などの自宅を訪問し、家事援助などのサービスを提供するボランティア団体『すける's』（岩館キミ会長、会員数 21 人）が 10 月 26 日、町総合福祉センターで行われた設立総会を経て発足しました。

昨年度から町と町社会福祉協議会が開催する「ボランティア養成講座」を修了した 21 人が、対象者の自宅を訪問し、調理や洗濯、話し相手や見守りなど個々のニーズに合わせた支援を行います。

サービスを受けられるのは介護保険制度で「要支援 1・2」の認定を受けている町民とチェックリストで支援が必要と認められた人。1 回 1 時間 200 円でサービスを利用できます。

詳細は、下記までお問い合わせください。

問同ボランティア事務局

☎ 33-3385（町社会福祉協議会内）

活動の様子を写真で紹介



①利用者の血圧測定を手伝う様子。用紙に記録し健康管理に役立てます ②窓を開け換気をしながら丁寧に掃除機をかけます ③一仕事を終えた『すける's』会長の岩館キミさん④と同会員の斎藤チャ子さん④



地域包括ケアシステムが構築されると、高齢者や介護が必要な人たちの暮らしに、たくさんのメリットが生まれます。

①一体的で継続的な医療と介護の連携サービスが提供されます
在宅医療と介護サービスがしっかりと連携（※1）することで、必要なタイミングで柔軟なサービスの提供が可能です。

②認知症になっても自宅での生活を続けられます
認知症支援ネットワークを生かし、地域に認知症カフェ

③地域に多様なサービスが生まれます
高齢者の日常生活に欠かせない買い物、調理、掃除、ゴミ出しなどの支援、見守りなど、個々のニーズに柔軟に対応できるサービス（※3）が提供できるようになります。

④高齢者が社会参加できる機会が増えます
元気な高齢者は、支援する側になる機会が増えます。地域で役割を果たしながら、自分の生きがいを見付けたり、新しい発見があったりなど、介護予防にもつながります。

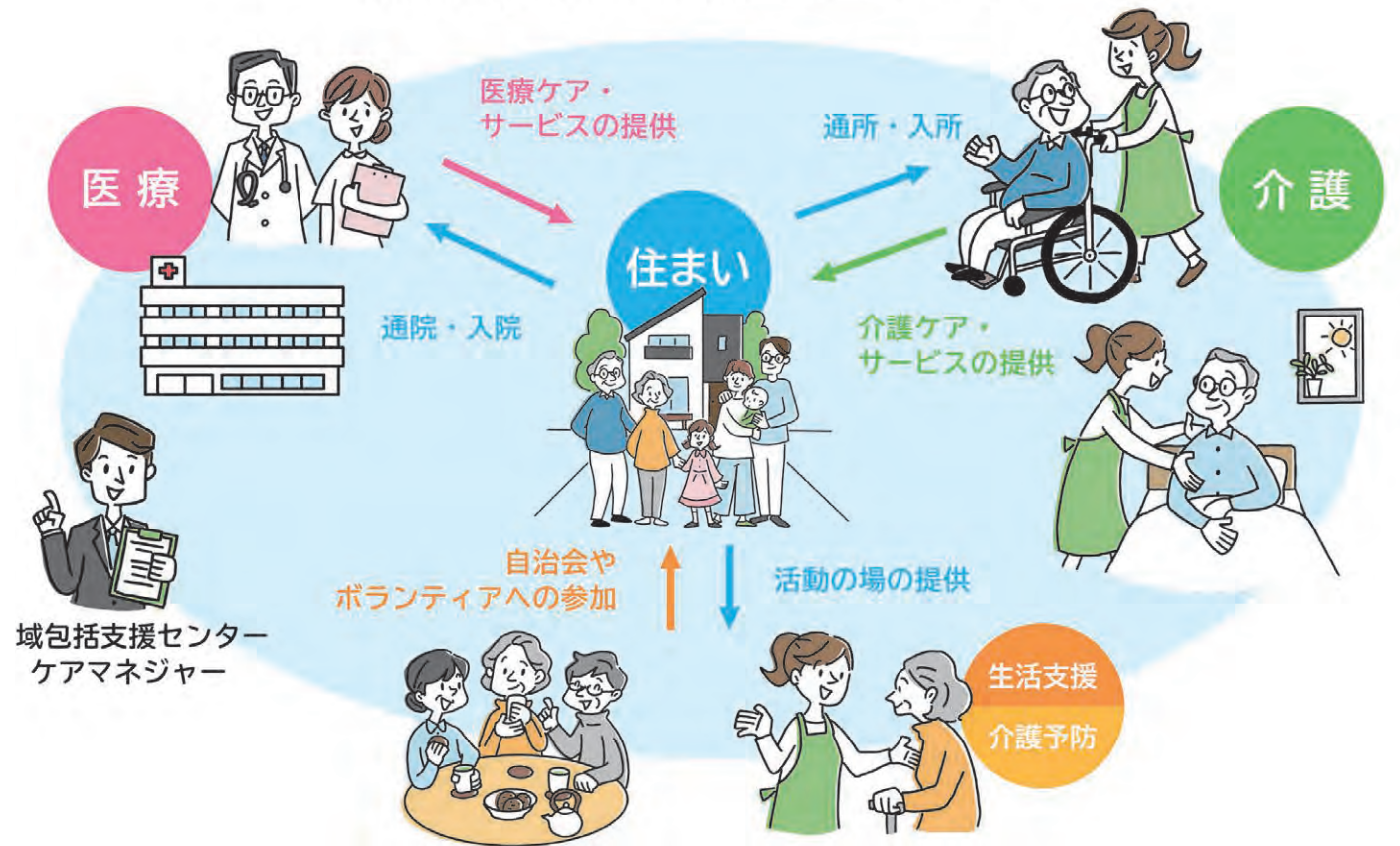


地域包括ケアシステムで高齢者の暮らしはどう変わるの？

1. 介護
介護が必要になったら利用する介護サービス全般
2. 医療
かかりつけ医、看護サービス、急性期病院、回復期リハビリテーション病院など医療サービス全般
3. 介護予防
いつまでも元気に暮らすための介護予防や健康づくりなど

4. 生活支援
日常の暮らしを支えて自立を支援するための福祉サービスや地域交流など
5. 住まい
高齢者の住まいの確保、空き家の活用など
この体制の実現のためには、自助（自分自身のケア）、互助（家族や親戚、地域での暮らしを支え合い）、共助（介護保険・医療保険サービスなどの利用）、公助（生活保護などの行政サービス）という考えに基づき、地域住民・介護事業者・医療機関・町内会・自治体・ボランティアなどが一体となり地域全体で取り組むことが求められています。

地域包括ケアシステムのイメージ



初めに生活のベースとなる「住まい」と福祉サービスなどの「生活支援」を確保し、その上で「医療・介護・介護予防」を一体的に機能させます。

要介護者と医療・介護サービスをつなぐ専門職

『ケアマネジャー』

ケアマネジャーとは、介護保険制度に基づき介護が必要な人や、要介護状態が悪化しないように、本人やその家族が抱えている課題を分析し、必要な支援につなげる専門職種です。正式には「介護支援専門員」と呼ばれています。

ケアマネジャーの仕事は、本人や家族からの相談を受けるところから始まります。生活状況などの調査や

本人、家族の意向を確認しながら、長期・短期の目標を設定し、一人ひとりに合ったケアプラン（介護サービス計画）を作成しています。介護サービスの提供事業所と連絡を取り合い、ケアプランに記載された目標が達成できるように調整を行ったり、本人や家族の困り事や体調不良時に迅速に対応するために必要な情報の提供を行ったりしています。



居宅介護支援事業所にコトピア一戸で
ケアマネジャーとして働く
介護支援専門員 仁井田 正博さん

「自分の家に帰りたい」
「最期は自宅で迎えたい」
「家族と一緒にいたい」
という患者の思い。

「いつもそばで寄り添ってあげたい」
「最期は好きだったこの家で家族で見送ってあげたい」
という家族の思い。

今回の特集で取り上げた在宅医療は、そんな思いを叶えるために重要な役割を果たします。

一人ひとりの思いを叶えるためには、地域包括ケアシステムをつくる5つの要素が一体的に機能することが必要です。

大切なのは、家族や関係者とともに相談し、自分の納得できる環境で医療や介護などを受けることではないでしょうか。

困ったときは、 私たちにご相談ください

住み慣れたまちの安心な暮らしをサポート

『一戸町地域包括支援センター』

☎32-3700（総合保健福祉センター内）



一戸町地域包括支援センターの皆さん

一戸町地域包括支援センターは、町が運営している機関です。高齢者や介護を必要とする人たちが、住み慣れたまちで安心して暮らしていけるように、介護・福祉・健康・医療など、さまざまな面から高齢者などやその家族を支えています。

本人や家族、地域住民、ケアマネジャーなどから受けたさまざまな相談事を、適切な機関と連携しながら

解決に努めます。

そのほか、介護予防教室や地域活動の支援、家族介護者の交流事業や認知症に関する事業など幅広く活動しています。

介護や福祉、医療に関することはもちろん、どこに相談したらよいか分からない心配事や悩みがあるときは、ぜひ地域包括支援センターにご相談ください。

総合保健福祉センター

高血圧の原因は『食塩』の取り過ぎ！？
～1日の摂取目安は、
男性 7.5g未満、女性 6.5g未満～

高血圧の放置は危険です

日本人で一番多い疾患は高血圧で、3人に1人が患者と推定されるほど、身近な疾患です。令和元年度の一戸町の健診受診者 2,807 人のうち、約 4 割（959 人）が高血圧の状態、病院受診勧奨の対象となっています。

血圧が高い状態を放置すると、心不全、心筋梗塞、脳卒中、腎不全など、怖い病気を引き起こします。

食塩の取り過ぎが高血圧を引き起こします

血圧を上げる要因には「食塩の取り過ぎ」「肥満」「運動不足」「アルコールの取り過ぎ」「喫煙」「ストレス」などがあります。

血圧を下げるためにはこれらの生活習慣を 1 つでも多く改善していくことが大切です。特に注意をしなければならぬのが「食塩の摂り過ぎ」と「肥満」です。

町の特定健診で 1 日の食塩摂取量を把握できます

12 月 7 日から 21 日まで実施する特定健診では、1 日の推定食塩摂取量が分かる尿検査を実施しています。自分の摂取量を把握することで、高血圧の改善や予防につなげることができます。健診結果と食塩摂取量を確認し、一人ひとりが「減塩」に取り組んでいきましょう。

※健診を受診する際は、マスク着用をお願いします。健康診断受診票はあらかじめ記入の上、持参するようご協力ください。

簡単な運動でもフレイル予防に効果があります。無理せず安全に、自分のペースで行いましょう。

多世代交流カフェ まるっと

■日時 12 月 18 日(金)
10:00～12:00
■場所 刈龍寺（鳥越字中野平 47）

オレンジカフェさくらの会

■日時 12 月 26 日(土)
13:00～15:00
■場所 コミュニティセンター

家族介護者交流会

■日時 令和 3 年 1 月 12 日(火)
10:00～12:00
■場所 総合保健福祉センター

■料金 100 円

※感染症対策のため中止になる場合があります。

地域包括支援センター

大切です！ 感染予防と介護予防 ～フレイル予防を 心掛けた生活を～

全国的に新型コロナウイルスの感染者が増加している中、特に高齢者は注意が必要です。さらに、感染予防と合わせて自粛生活によるフレイル（虚弱）対策も重要です。外出回数減→身体活動減→食欲低下→筋力・体力・脳の働き低下（認知症）など悪循環に陥ってしまいます。

意識して歩く、3 食バランス良く食べる、口腔を清潔に保ちよく噛んで食べるなど、フレイル予防を心掛けた生活がとても重要です。

フレイルを簡単チェック

以下の項目に 3 つ以上当てはまる人は、フレイルの可能性が大。

- ☐ 半年間で体重が 2 ～ 3 kg 以上減った
 - ☐ 歩くのが遅くなった
 - ☐ 疲れやすくなった
 - ☐ 筋力（握力）が低下した
 - ☐ 体を動かすことが減った
- 自宅できる“つま先立ち”などの

★保育施設開放（1 月 12 日 10:00～11:00）

鳥海保育所 ☎ 32-2220 小鳥谷保育所 ☎ 34-2524
奥中山保育所 ☎ 35-2319 摺糠児童館 ☎ 35-2316
※要予約。マスク着用など感染症対策にご協力ください。

★子育て支援ひろばのびのび ☎ 32-3770

平日の 月・火・水 9:30～14:30
※役場隣の旧保健センター

★るんだ・るんだ ☎ 35-2314 ※要予約
10:00～12:00 ※中山字大塚 4-6 (奥中山学園内)

『まちの健康相談室』は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、当面の間休止します。皆さまのご理解をお願いします。

秋の叙勲

令和 2 年度秋の叙勲の受章者が発表され、当町からは稲葉暉さんが旭日小綬章、三崎松一さんが瑞宝双光章を受章されました。心よりお祝い申し上げます。

旭日小綬章（地方自治功労）



あきら
稲葉 暉 氏
(75歳 鳥越川原田平)

前 一戸町長
昭和56年12月に町議会議員に選出。その後、昭和60年11月から平成29年11月までの8期32年間にわたり、町長として町の発展に尽力されました。

瑞宝双光章（消防功労）



しょういち
三崎 松一 氏
(71歳 一戸本町)

元 一戸町消防団 団長
昭和46年一戸町消防団に入団し、平成29年4月から平成31年3月まで団長として職務に精励。長きにわたり町民の生命財産の保全に尽力されました。

公衆衛生模範団体知事表彰

高屋敷町内会が岩手県知事表彰を受賞

高屋敷町内会（愛木 稔 会長）が令和 2 年度公衆衛生模範団体岩手県事表彰を受賞しました。

同町内会は、設立される前の昭和 43 年から地区の衛生班を中心に活動を始め、平成 17 年 4 月の設立後も継続して環境美化活動やごみの減量・分別収集など多岐にわたり地域の環境事業に貢献していることが、評価されました。



㊦同町内会衛生班の高田哲子さん、㊦同町内会会長の愛木稔さん

税についての作文

遠山拓斗さん（一戸中 3 年） 岩手県納税貯蓄組合連合会会長賞 月永博野さん（一戸中 3 年）、中鳥歩さん（奥中山中 3 年）、山下妃依さん（奥中山中 3 年） も受賞

全国納税貯蓄組合連合会と国税庁が募集した『税についての作文』で、町内の中学生 4 人が受賞しました。



㊦遠山拓斗さん、㊦月永博野さん



㊦中鳥歩さん、㊦山下妃依さん

■受賞一覧 ※『 』内は作文のタイトル

【岩手県納税貯蓄組合連合会会長賞】

遠山拓斗さん（一戸中 3 年）『税金から始まる助け合い』

【岩手県納税貯蓄組合連合会優秀賞】

月永博野さん（一戸中 3 年）『日本の「税」』

中鳥歩さん（奥中山中 3 年）『未来を支える税の使い方』

【二戸税務署長賞】

山下妃依さん（奥中山中 3 年）『「税金」に感謝』

旧 小鳥谷小児童、初めてのガイド活動 朴館家住宅の魅力を発信

小鳥谷小学校 5、6 年生 14 人は 11 月 9 日、国の重要文化財『旧朴館家住宅』のガイド活動を行いました。児童たちは、招待した地域住民らに向け、手づくりのパンフレットなどを基に旧朴館家住宅の魅力を伝えました。5 年生の戸部祐貴（ゆうき）さんは「緊張したけど、練習したおかげで楽しく案内することができました」とほっとした様子で感想を話しました。



写真や資料を貼り付けたスケッチブックも使い、丁寧に説明する児童たち

万 町消防団、小鳥谷地区で防災訓練 が一の火災に、確かな備え

一戸町消防団（澤尻義信団長）による防災訓練が 11 月 8 日、小鳥谷地区内で行われました。今年は、同地区高屋敷地内での火災を想定。この日集まった 6 分団から 8 分団までの団員らは、道幅が狭く、急勾配である難所で、水利から火元までをホースでつなぎ放水する訓練を実施。これに合わせて、高屋敷町内会も炊き出し訓練を行い、万が一の火災に備えました。



操作手順を確認しながら訓練を行う団員ら

関 系人口の創出図る

町と横浜市は 11 月 18 日、花の苗を交換して植えるオンライン交流イベントを開きました。当町は国の天然記念物『藤島のフジ』周辺のフジを贈り、横浜市からは『ハマミライ』と『ローズヨコハマ』という 2 品種のバラの苗が贈られました。小鳥谷放課後子ども教室、小鳥谷学童クラブに通う児童 13 人が、横浜市立・立野小と大島小の児童 3 人と画面越しに会話しながら小鳥谷地区公民館の花壇に植樹しました。

19 日には、榎山の平船農園（平船康生園主）と横浜市役所をオンラインでつなぎリング狩りを実施。平船園主がおいしいリングの見分け方などを説明。市職員が画面越しに選んだリングを、町職員が取り市役所に発送しました。両企画は、総務省の『関係人口創出・拡大モデル事業』として実施されたものです。



①横浜から贈られたバラの苗と記念撮影する児童②役場前の花壇にも植樹する田中辰也町長③タブレットの画面越しにリングの説明をする平船園主

園 一戸幼稚園、最後の生活発表会 児 5 人が元気いっぱい発表

来年 3 月に閉園を予定する一戸幼稚園（大道正樹園長）の最後の生活発表会が 12 月 5 日、同園で開かれました。在園児 5 人は、楽器の演奏や劇、手話を交えた歌を披露。少人数ながらも堂々と発表する園児たちの姿に観客の保護者から大きな拍手が送られました。年長クラスの小野寺福音（ふくね）ちゃんは「かぐや姫（劇）も手話も上手にできました」とほほ笑んでいました。



4 人の侍が、かぐや姫に猛アピール。おじいさん役は園長先生！

産 県道一戸浄法寺線中里地区が開通 業振興、移住定住にも期待

県道一戸浄法寺線中里地区（1,240 ㎡・総事業費 9 億円）の開通を記念し 11 月 29 日、開通式が行われました。田中辰也町長ら関係者約 50 人が式典に出席。

鳥海地区振興会長の柏葉輝男会長は「旧道は道幅が狭く急カーブもあり危険だったが、安心安全な交通ができるようになった。これを機に産業振興や移住定住にもつなげていきたい」と期待を込めました。



テープカットとくす玉で開通を祝いました

楽 奥中山楽農女子会が講演 農女子が教える酪農家の一日

『楽しく学ぼう！酪農家の一日』（町立図書館主催）が 11 月 8 日、コミュニティセンターで行われました。奥中山楽農女子会の中嶋瞳会長が講師を務め、酪農家の仕事などを紹介。バターづくりも行われ、参加者 26 人は楽しみながら酪農への関心を深めました。山井優芽花さん（一戸小 1 年）は「牛は上の歯がないということを初めて知りました」と驚いていました。



スライドや動画を流しながらの説明に、参加者は興味津々

投 町子ども会対抗ドッジボール大会 げて、つかんで、よけまくる

第 20 回一戸町子ども会ドッジボール大会が 11 月 8 日、一戸町体育館で開かれました。町内の子ども会から 11 チームが参加。1 チーム 8 ～ 12 人で編成し、小学校低学年の部と高学年の部に分かれ勝敗を競いました。高学年の部で優勝した中山チームの西館俊希（としき）さん（奥中山小 6 年）は「勝てると思ってなかったけど、全勝できてうれしい」と喜びをかみしめました。



狙いを定めて全力投球！



写真：左から井橋沙良さん、鳥居俐珠さん、井橋宗士郎さん

一戸町剣道スポーツ少年団

一戸町剣道スポーツ少年団に所属する鳥居俐珠さん（一戸小6年）、井橋沙良さん（小鳥谷小6年）、井橋宗士郎さん（小鳥谷小4年）の3人が、10月18日に岩手県営武道館で行われた第47回岩手県スポーツ少年団剣道大会で大活躍を見た。

俐珠さんと沙良さんは、小学5・6年生女子の部に出場。二人とも初戦から順調に勝ち上がり、一戸同士で迎えた決勝戦。両者譲らぬ激戦は、俐珠さんが制した。出場者60人の中、二人は優勝と準優勝を飾り、歴史に名を刻んだ。

小学4年生以下男子の部に出場した宗士郎さんも初戦からエンジン全開。素早さを武器に、次々とライバルを下し、見事優勝を飾った。

3人は11月4日、役場を訪れ田中辰也町長と中嶋敦教育長に結果を報告。3人を代表して報告した俐珠さんは「ほかの道場よりも多く上位に入ることができ、結果を残せたことを誇りに思います。結果に満足せず、さらに稽古に励みます」と力強く語った。

■大会成績

- ・第47回岩手県スポーツ少年団剣道大会
 - 小学校4年以下男子 第1位 井橋宗士郎
 - 小学校5・6年女子 第1位 鳥居俐珠
 - 第2位 井橋沙良



役場を訪れ成果を報告した3人。とてもいい笑顔



町武道場での稽古の様子



写真：前列左から大崎夏望さん、東山璃音さん、後列左から柴田昇翔さん、柴田優月さん、柴田朱理さん、鈴木茉莉さん

一戸高校なぎなた部

第25回岩手県高等学校新人なぎなた大会が10月31日、盛岡体育館で開かれ、一戸高校なぎなた部の生徒たちが各種目で好成績を残した。

女子は、3種目全て1位を獲得し、団体試合で全国選抜大会への出場を決めた。

一方、個人試合のみで競い合った男子。決勝戦へ駒を進めた柴田昇翔さん（1年）の対戦相手は、当町出身の南館日奈太さん（盛岡第三高・1年）。昇翔さんは惜しくも敗れてしまったものの、2位で全国への切符を手にした。

生徒たちは11月25日、役場を訪れ田中辰也町長や中嶋敦教育長らに全国選抜大会への出場決定を報告。同部の顧問を務めて7年目の細川都也子教諭は「本大会の団体試合で優勝するのは創部以来初めて。やっという結果を報告することができました。歴代の部員の思いを胸に、全国でも上位入賞を果たせるように頑張ってきます」と意気込んだ。※キャプテンの東山璃音さんのコメントは23日『#桜陵』に掲載。

■大会成績

- ・第25回岩手県高等学校新人なぎなた大会
 - 【女子】団体試合 第1位
（東山璃音、大崎夏望、柴田朱理、柴田優月、鈴木茉莉）
 - 個人試合 第1位 東山璃音（2年）
第2位 柴田朱理（1年）
 - 演技競技 第1位 東山璃音・柴田朱理
 - 【男子】個人試合 第2位 柴田昇翔（1年）
- ※女子団体試合と男子個人試合は、令和3年3月20、21日に兵庫県伊丹市で行われる全国選抜大会に出場決定。



町武道場での練習風景

史上初の合同チーム 地区タイトルを総なめ



写真：一戸中学校野球部父母会提供

一戸・奥中山中学校野球部

一戸中学校野球部1・2年7人と奥中山中学校野球部1・2年8人が歴史上初となる合同チームを結成した。

3年生の引退と同時に、人数不足により単独でのチーム編成が不可能となってしまった両校。7月下旬に結成した合同チームは、少ない練習ながらも8月から11月までに行われた二戸地区内の大会で優勝を総なめにした。(各大会の成績は下記参照。)

一戸中学校キャプテンで合同チームのキャプテンも務める下坪緒莉さんは「思ったより良いチームにできあがった」と手応えを感じた様子。奥中山中学校キャプテンの駒木優人さんは「時間が少ない分、集中して練習に取り組めた」と評価した。合同でチームを組むのは来春の全日本軟式野球大会までの予定。さらなる活躍に期待したい。

■大会成績

・8月2日	第14回岩手県少年軟式野球新人大会二戸郡予選	第1位
・9月12日	第34回二戸地区中学校新人野球大会	第1位
・11月3日	令和2年度柴田俊春杯中学校野球大会	第1位

Member メンバー

番号	氏名	学年	学校	番号	氏名	学年	学校
1	日影 聡真	2	一戸	10	釜石 龍兵	1	奥中山
2	下坪 緒莉	2	一戸	11	八木 伊吹	1	奥中山
3	斎藤 祐斗	2	一戸	12	坂本 悠人	1	奥中山
4	上山 晴大	2	奥中山	13	中島 絢香	1	奥中山
5	駒木 優人	2	奥中山	14	西館 龍之介	1	奥中山
6	本宮 昇虎	2	一戸	15	上平 寛稀	1	一戸
7	川畑 湧世	2	一戸				
8	大志田 祐太郎	2	奥中山				
9	田代 優	1	一戸				

監督／小山田 重行（一戸中教諭）
コーチ／菅野 友博（奥中山中教諭）
下坪 学（一戸中コーチ）

来春の全日本少年軟式野球大会では、地区大会、県大会ともに優勝を目指します！



奥中山中学校野球部 主将 駒木優人さん（2年）
一戸中学校野球部 主将 下坪緒莉さん（2年）

一戸の激走娘二人が 大活躍！！



写真：サンビレRC提供

サンビレRC

第17回岩手県小学生ロードレースリレー大会が10月11日、奥州市ふれあいの丘公園で開かれ、サンビレRC・Aチームが3年ぶり3回目の優勝を飾りました。サンビレRC・Bチームを含め、県内の小学生陸上クラブ13チームが出場。1区間1.5kmの周回コースを6人でたすきをつなぎ、合計タイムを競った。

当町を中心に、県北地域や盛岡などの小学生で構成するサンビレRC。本大会で優勝したAチームのメンバーには、一戸小学校6年の夏井日菜子さん（1区）と奥中山小学校5年の西館陽里さん（3区）がエントリー。

キャプテンで優秀選手にも選ばれた日菜子さんは「優勝できたのは、選手だけではなく熱心に指導してくれたコーチや、つらいときも励ましてくれた家族のおかげです。中学に進学しても陸上を続け、全国で活躍できるような選手になりたいです」と力を込めた。3区を区間1位で走りきった陽里さんは「ベストタイムを出せなくて悔しい。来年はタイムをもっと縮めて優勝したい」と闘志を燃やす。

■大会成績

・第17回岩手県小学生ロードレースリレー大会	第1位	サンビレRC・Aチーム（31分02秒）
第8位	サンビレRC・Bチーム（33分29秒）	優秀選手 夏井日菜子（区間記録 5分20秒）



写真：サンビレRC提供



夏井日菜子さん
西館陽里さん

一戸高校の星



県新人なぎなた大会

3冠達成！

なぎなた部 主将
りおん
東山 璃音 さん
(2年・一戸中出身)

話題 - Topics -

若者が集い、取り組みをPR

県内の学生や若者団体などが集い取り組みなどを紹介する『いわてネクストジェネレーションフォーラム 2020』が11月7日、8日の両日、盛岡市観光文化交流センターで開かれ、一戸高校がブースを出展しました。2年生6人が各日3人ずつ参加し、同校が今年度製品化したトマトジャム『とまとの笑顔』や生活・文化系列（農業コース）が取り組んだ『ウルシの苗木生産技術向上に関する研究』をPR。参加した生活・文化系列の泉久保由信さんは「真剣に説明を聞いてくれる人が多く、一戸高校が期待されていることを実感しました」と話していました。



達増拓也岩手県知事にトマトジャムのPRをする生徒

一戸高校の魅力と旬な情報を発信！

#桜陵

○最近の出来事を教えてください

10月31日に盛岡体育館で行われた『第25回岩手県高等学校新人なぎなた大会』に出場し、団体試合、個人試合、演技競技の全種目で優勝しました。来年3月に兵庫県で行われる全国選抜大会に、出場が決まりました。

○全国大会に向けての意気込みをお聞かせください

初めての全国大会なので、自分の力がどこまで通用するか肌で感じてきたいと思います。

○一戸高校自慢をお願いします

仲が良く、先生とも気軽に話ができることです。

魅力 - Charm -

生活・文化系列(家庭)を紹介

生活・文化系列（家庭コース）では、衣食住や保育、消費生活などの家庭科に関する科目を中心に学習しています。私たちの暮らしを支えるための、さまざまな知識や技術を身に付けることができます。

授業では、食物調理や被服製作、保育の検定取得に向けた練習や保育実習などに取り組んでいます。そのほか、各種コンクールにも積極的に参加し、実践力やコミュニケーション力、計画を立て実行する力を育成しています。

＜昨年度の主な進路＞

進学：盛岡大学短期大学部（幼児教育）、岩手医科大学医療専門学校、盛岡医療福祉専門学校、上野法律ビジネス専門学校など

就職：日本ソーイング(株)、(株)小松製菓、(株)二戸食品、白石食品工業(株)など

＜授業風景＞



まちのお知らせと情報

TOWN INFORMATION

年末年始、1月祝日のごみ収集日程 適切なごみ収集にご協力をお願いします

図水環境課 ☎ 33-2111 内線 225



年末の大掃除などで大量のごみが出るのが予想されます。計画的なごみ出しにご協力をお願いします。

年末年始（12月29日から翌1月4日）、1月祝日（1月11日）のごみ収集は右記の通りです。二戸地区クリーンセンター（☎ 25-5660）が稼働している時間帯は、家庭ごみ（可燃・不燃・資源・粗大）の持ち込みが可能です。（粗大ごみは100円／10*、それ以外は30円／10*）。カセットコンロなどのガス缶は、中身を使い切り穴を開けて資源ごみに出してください。また、除雪などで収集が遅れる場合がありますので、ご理解をお願いします。

■ごみ収集日程

月日	内容	クリーンセンター
12月29日(火)	早朝収集 ※可燃ごみのみ	8:45～14:00
30日(水)	早朝収集 ※空き缶・ビン・ペットボトルのみ	8:45～14:00
31日(木)	早朝収集 ※可燃ごみのみ ※生ごみは回収しません	8:45～12:00
1月1日(金)	休み	休み
2日(土)		
3日(日)		
4日(月)	通常収集 ※一戸地区は生ごみも回収	9:00～16:30
11日(月)	早朝収集 ※可燃ごみのみ ※一戸地区は生ごみも回収	8:45～14:00

※収集地区は通常どおりです。
早朝収集は6:30までに出してください。

義手や義足、車いすなど 補装具の相談に応じます

図福祉課 ☎ 32-3700 内線 607



「これから使いたい・使用しているものに不安を感じる」など、気軽にご相談ください。

身体障害者手帳所持者を対象に、日常生活を支援する補装具（義手、義足、車いすなど）の相談会を開催します。補装具の交付（修理）の要否判定や適合判定を専門の医師が行います。予約制となっていますので、問い合わせ先まで申し込みください。

■日時 令和3年1月12日(火)
13:30～16:30（受付14:00まで）
■場所 二戸市総合福祉センター
■申込み 12月28日(月)までに電話で申し込み。

新年を迎え、気持ち新たに 一筆に思いを込める

図生涯学習課 ☎ 33-2111 内線 513



■日時 令和3年1月9日(土) 9:20～12:10
■場所 コミュニティセンター ホール
■課題 ▷小中学生……学年ごとに設定
▷高校・一般…自由課題
■持ち物 習字用具、ふきん、新聞紙、ビニール袋、練習用紙
■申込み 一般参加は12月18日(金)までに、町民文化センターに申込書を提出。
■その他 来場の際は、マスクの着用をお願いします。受付での検温に協力ください。

わわわのどおーも & ぶらぶららいぶらりい

〒028-5312 一戸字砂森 117-2 / ☎ 31-1400 FAX 31-1888
 コミセン▷ <http://ichi-culture.jp/komisen/> 図書館▷ <http://ichinohe-lib.sakura.ne.jp>

注目1 今年最後の開催！ 『わわわのステージ』

町民の皆さんによる舞台発表。民謡やカラオケ、健康体操、踊りなど、歌って踊って楽しいひとときを過ごしませんか？

- 日時 12月20日(日) 13:00 から
 ■場所 コミュニティセンター ホール
 ■料金 無料
 ■その他 無料健康チェックはありません。
 図コミュニティセンター



舞台発表の様子

注目2 地域おこし事業 『アメッコ市』を楽しもう♪

年初めの市日は『アメッコ市』です。一年の初めにお寺へお礼に行く日でその帰りにあめを買い、仏壇や神棚にお供えしたあめを食べると風邪をひかないと言われています。アメッコ市を一緒に散策してみましょう。参加者には枝あめ（ミズキの枝にあめを飾ったもの）のプレゼントもあります。

- 日時 1月11日(月・祝) 10:00～12:00
 ■場所 コミュニティセンター ホール
 ■対象 どなたでも参加可(小学生以下は保護者同伴)
 ■申込み 1月10日(日)までに図書館へ直接または電話で申し込みください。(先着20人)

図図書館



『こまったこまったサンタクロース』マシユ・プライ
 ス文／エロール・ル・カイン
 絵／いわくらちはる 訳
 (ほるぷ出版刊)

今夜はクリスマス・イブ。サンタクロースはプレゼントをどっさり持ってきたけど、この家にはえんとつがないみたい。どこから入ればいいのかな？迷子のサンタに入口を教えてあげよう。次のページにつながるドアを探す、クリスマスのしかけ絵本。



『岩手老舗物語』
 岩手産業統計所 監修 (岩手めん
 こいテレビ刊)

岩手には創業70年以上の老舗が約400社も存在する。伝統、技術力、格式、ブランド力、信用力を守り、試練を乗り越えてきた企業の歴史をひもとく。ベルジョイス(一戸鶏豚組合盛岡販売所が前身)、菅文、割烹旅館おぼない、川徳、岩鑄など46社を紹介。

イベントカレンダー

※イベント参加時は、マスクの着用(2歳以上)と名簿への記入をお願いします。

▷ 12月

- 11:00～／幼児・児童向け
 12 土 としょかん映画会
 『ムーミン 冬の巻』(15分)
 13 日 9:00～ 絵画教室／一般向け
 14 月 休館日
 16 水 13:30～童謡・唱歌を楽しむ会
 18 金 とことこおはなし会／乳幼児向け
 10:45～(子育て支援センターのびのび)
 14:00～15:00
 19 土 親子deサイエンス図書館
 ～空気のサイエンスショー！～
 ① 20 日 13:00～わわわのステージ
 21 月 休館日
 23 水 13:00～カラオケ倶楽部/300円
 14:00～／幼児・児童向け
 26 土 としょかん映画会(115分)
 『バースデーワンダーランド』
 27 日 9:00～ 絵画教室／一般向け
 28 月 年末年始休館(～1月4日/月まで)

※12月27日(日)は、10:00～17:00の開館となります。

▷ 2021年1月

- 11:00～／幼児・児童向け
 としょかん映画会(15分)
 9 土 日本の昔ばなし『ねずみのすもう / 和尚と小僧のぶーばーぱたぱた』
 10 日 9:00～ 絵画教室／一般向け
 10:00～12:00
 11 月 地域おこし事業『アメッコ市』を楽しもう
 12 火 休館日
 13 水 13:00～カラオケ倶楽部/300円
 15 金 とことこおはなし会／乳幼児向け
 10:45～(子育て支援センターのびのび)
 13:30～(開場12:45)
 17 日 ニューイヤージャズライブ
 18 月 休館日

②

おすすめの本
 一般書
 児童書

日本古来の技法で、おしゃれなアクセサリーづくり♪

2020年の感謝～本年もお世話になりました～

『小指組みひもでアクセサリーをつくる』



指にかけた糸を移動しながら組んでいく日本古来の技法「クテ打ち」で、組みひものアクセサリーをつくります。

- 日時 1月17日(日) 10:00～12:00
 ■場所 町民文化センター3階 第2会議室
 ■料金 1,200円/人
 ■定員 先着10人
 ■申込み 12月17日(木)から翌1月10日(日)までに
 問い合わせ先へ電話で申し込み。

新春も運動公園で元気に遊びましょう！

年末年始の休館は12月26日から

新春！運動公園イベント開催

2020年1月に初めて開催した新春イベントは、大盛況に終わりました。特に餅つきが子ども達に大人気でした！2021年初春も体を動かした後は、みんなで餅つきをしておいしく食べましょう！

おじいちゃん、おばあちゃん、お孫さんも家族みんなで参加可能です。ぜひご参加ください！



かんじきレースの様子

- 日時 令和3年1月9日(土) 9:45～13:00
 ■場所 一戸町総合運動公園
 ■内容 かんじきレース・巨大かるた・餅つき
 ■料金 小学生以上…500円
 ※幼児・NPOスポーツウェルネス会員は無料
 ■持ち物 防寒着・タオル・着替え・飲み物
 ■申込み 令和3年1月5日(火)までに運動公園に直接、または電話で申し込み。(定員30人)

本年もお世話になりました

早いもので2020年も残りわずかとなりました。今年は御所野遺跡の世界遺産登録に向けて1月にはユネスコ本部への推薦書の提出、9月にはイコモスの現地視察などを進めてきました。皆さんの活動や応援で世界遺産登録への道のりも大きな局面を乗り越え、最終盤となってきました。来年にはよい知らせを町民の皆さんと分かち合えるよう、職員一同頑張っていきます。来年も御所野遺跡をよろしくお願いいたします。

History



御所野縄文博物館だより

図御所野縄文博物館 ☎ 32-2652
 ○休館日
 12/14(月)、21(月)～31(木)
 1/1(金)～4(月)、12(火)、18(月)

本年もご利用ありがとうございました

本年も運動公園をたくさんご利用いただきありがとうございました。

今後も、定着したスポーツの場、憩いの場として、皆さまに楽しく快適にご利用いただけるよう運営していきます。

年内は、12月25日(金)までご利用いただけます(屋内ゲートボール場は、12月26日正午まで利用可)。2020年の汗を流し切り、すがすがしい気持ちで新年を迎えましょう。

Sports

運動公園だより

図NPOスポーツウェルネス
 ☎ 33-4444 FAX 33-4445
 開館 9:00～21:00





- 先月号の答え
昭和 33 年
- 先月号の当選者（応募10通）
①たるぴつつさん ②リムニーさん
③ポストウーマンさん
- 今月号のクイズ
Q1 一戸幼稚園の現在の園児数は？
(ヒント：P17)
Q2 広報に関する意見感想、取り上げてほしい人・内容などありましたらお聞かせください。
- 応募方法
ハガキ、またはメールに①クイズの答え、②住所、③氏名、④年齢、⑤電話番号、⑥ペンネーム（あれば）を記入し、下記へご応募ください。
- あて先
〒028-5311
一戸町高善寺字大川鉢 24-9
広報クイズ係（12月31日締切）
メール：kouhou@town.ichinohe.iwate.jp

人の動き 10月末(前月比)
人口 11,953人（－11）
男性 5,774人（－5）
女性 6,179人（－6）
世帯数 5,650世帯（＋2）
転入 15人 転出 14人
出生 5人 死亡 17人

火災・救急 (10月分)
火災 1件 救急 48件

交通事故 (10月分)
発件数 9件
人身事故 0件(死者0人)
物損事故 9件

ごみの量 (10月分)
排出量 265トﾝ
(町民1人1日 580㍑)

町長メッセージ message from the mayor



令和2年も残すところあとわずかとなりました。今年は、新型コロナウイルス感染症に翻弄された1年だったと思います。年初こそ穏やかで賑わいがありました。2月から国内外ともに大流行となりました。今では県内でも多くの感染者が発生し、日々の感染予防対策をしっかりと行わなければならないと思います。

未知のウイルスへの感染予防として、手洗い励行・マスク着用・三密回避などの新しい生活様式が提唱され、皆さんの生活に定着しつつあると思います。それに伴い、各種イベントはその多くが感染対策などを理由として中止されました。とても寂しい一年だったと思います。

今月のテーマ「令和2年を振り返って」

その中で感染対策をし、屋外でイベントを開催した人もいました。地域で規模を縮小し開催した事例もありました。皆さんが工夫を凝らしながら、コロナに負けずに地域活性に取り組んでいただきました。来年もコロナと共生する生活を送らなくてはなりません。今年の経験を来年に生かし、明るい年となるように努めていきましょう。

この事例のように、各地域における小さな種は着実に育ってきています。横浜市との交流事業も進んできています。来年はこれらを大きく育て、飛躍する年にしていかなければなりません。今年のコロナによる厄災を、来年の大きな成長に変えていきたいものです。

皆さんからのおたより Letter

広報いちのへ700号突破おめでとございます。ウェブでも他市町村から読めるので、うれしさを実感しています。これからも楽しみに読ませていただきます。 二戸市 30代女性

☆お祝いのコメントありがとうございます。今年3月にホームページをリニューアルしました。ホームページでの情報にも力を入れて取り組んでいきたいと思っています。

長期にわたり発行されてきた広報。世代の移り変わりが読み取られ、私も年を取ったなあと思います。一戸に住んでいるのに、まだまだ知らないことばかりです。広報のおかげで人々の動きや町の良さを知ることができて本当にありがたいと思っています。コロナと寒さに負けないように頑張りましょうね！ 傘木 70代女性

☆いつもおたよりありがとうございます。広報いちのへでもまだまだ発信しきれない、一戸の魅力がたくさんあると思います。来年も少しでも多くの魅力と情報をお届けできるように頑張りたいと思います。引き続き、広報いちのへをよろしく願います。

文化財巡り cultural property



北東上空から見たイグネ林

住居の敷地を囲むように形成された林のことを一般的に屋敷林と言います。地方によって呼び名が異なり、仙台平野を中心とした宮城県や岩手県などの東北地方太平洋側では「イグネ」と呼ばれています。「イグネ（居久根）」は屋敷境のことで、家を表す「イ」と生け垣や竹垣などの垣根を意味する「クネ」を組み合わせたのが語源とされ、転じて屋敷林のことも指すようになりました。

屋敷林の目的は、防風、防雪、土壌の流出防止、火災の延焼防止などの災害対策のほか、食用や燃料用、建築用、魔除けなどさまざまで、それぞれの目的に応じた樹種、配置で植えられています。

町道女鹿線沿いの高台にある

「佐藤家のイグネ林」は、家の敷地の南東側にあり、女鹿川と平行するようにサワラ7本、コウヤマキ1本、ネズコ（クロベ）1本、ヒメコマツ1本、イチイ1本の計11本の樹木が立ち並んでいます。林を構成する木々のうち8本は根元周囲3㍎を越える大きさで、樹齢300年以上と推定されます。また、庭に置かれた手水鉢に享保5年（1720年）と刻まれていることから、そのころに庭が造られ、これらの木々も植栽されたと考えられます。

これだけ歴史の古いイグネ林は、岩手県内でも珍しく貴重であることから、昭和48年に町天然記念物に指定されています（指定当初19本）。



享保5年と刻まれた手水鉢

文芸 tanka・haiku

10月短歌・俳句会 一戸町文化協会短歌・俳句部会 場所・町民文化センター

月見草売地夜通し灯しおり
秋明菊二種咲きそろふ歯科医院
駅ピアノ人生刻む背冬近し
大根の日毎に伸びし天に地に
身をよじり種を吐き出す鳳仙花
集落をすっぱり埋め霧の朝
病む友へ逢いに出かけし今日の秋
星二つ移りし夜更け秋しじま
秋深しあぶれ虫の音ひびきをり

中館 木実
柴田のぞみ
山火 明良
遠藤 道子
柴田サヨ子
仁昌寺洋子
岩渕 良子
東山 智子
佐々木悦子

俳句

稲刈の土産は栗と菊の花
うから等喜々と栗拾いたり
二の腕に寒さおぼえてかき抱く
もう秋来しと心定めし
月一度短歌の会にお洒落して
着る服おぼたのし一時
荒畑をぎつしり埋め萱の穂の
風に揺れる銀色の波

仁昌寺洋子
馬林 京子
中館 木実
東山 智子
遠藤 道子
岩渕 良子
初森 テル

柿洪が塗られし籠の一閑張り
かな書が張られ味わい深し
ゆさゆさのコスモス跡の片すみに
かぶの芽出揃う春の糧になり
朝ドラの軍歌の流れ少女の日
歌ひし過去に胸疼きたり
人住まぬ向家の庭を野良猫は
ゆったり歩き見廻るがごと
コンバインの撒らす刈田の新葉に
匂ふばかりに秋の夜の月
蕎麦刈りは花一二輪あるうちと
語る人あり動き頼もし

大矢 トモ
山火 明良
柴田サヨ子
岩渕 良子
初森 テル
遠藤 道子
東山 智子
中館 木実
馬林 京子
仁昌寺洋子

短歌

お知らせ
各種イベント・行事
中止のお知らせ

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、下記のイベント・行事を中止します。大変ご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いします。

【新年交賀会】

一戸・鳥海・小鳥谷・中山の全地区で中止します。

☎生涯学習課 内線 514

【一戸町消防出初式】

令和 3 年 1 月 10 日(日)に予定していましたが、式典と分列行進（パレード）は中止します。

※関係者による安全祈願祭は規模を縮小して行います。

☎総務課 内線 208

相談
『くらしの相談窓口』
出張相談会を開催

暮らしの中の困りごと（就職が決まらない、家賃が払えない、家計がうまくいかないなど）についての出張相談会を開催します。事前申し込みは不要です。

■日時 12 月 18 日(金)
10：00 ～ 12：00

■場所 総合保健福祉センター

■料金 無料

☎くらしの相談窓口 ☎ 43-3588
(二戸市社会福祉協議会内)

募集
地域活動を支援『コミュニティ助成事業』
今年度は 2 団体が助成事業を活用

コミュニティ助成事業は、地域活動の充実・強化のため、(財)自治総合センターが宝くじの収入を財源に行っている事業です。地域活動に必要な備品や施設を整備する場合、総事業費の 10 割以内（内容により上限あり）が助成されます。

助成対象団体は、コミュニティ組織（自治会・町内会などの地域的な共同活動を行う団体またはその連合体）です。

令和 2 年度は永代町町内会にイスや長テーブルなどの備品、姉帯中央自治会に除雪機 2 台と格納庫が整備されました。申請方法など、詳しくは下記まで問い合わせください。

☎まちづくり課 内線 213



(上) 永代町町内会が整備した備品
(下) 姉帯中央自治会が整備した除雪機

お知らせ
「いちのへ商品券」の
有効期限にご注意を



←今回有効期限を迎える商品券は、黄色が目印
町商業協同組合が発行している「いちのへ商品券（黄色）」が有効期限を迎えます。期限を過ぎた場合は、一切使用できなくなりますので、ご注意ください。

■有効期限 令和 2 年 12 月 31 日(木)

☎町商業協同組合 ☎ 33-2354

お知らせ
あなたの大切な遺言書
を法務局が守ります

遺言の利用促進、相続をめぐる紛争を防止することを目的に、本年 7 月 10 日から法務局で自筆証書遺言書（自筆さえできれば遺言者本人のみで作成可）をお預かりする制度が始まりました。

手続きには事前予約が必要です。制度に関する詳しい内容や手続きの予約については、下記までお問い合わせください。

☎盛岡地方法務局二戸支局

☎ 25-4811

お知らせ
いくべ号は
年末年始運休します

いくべ号は年末年始、運休します。運行の再開は 1 月 4 日(月)からです。

予約受付は、12 月 28 日(月)の 16：30 まで、新年は 1 月 4 日(月)の 7：30 からとなります。

■運休期間

12 月 29 日(火)～翌 1 月 3 日(日)

※県北バスは、12 月 29 日(火)から翌 1 月 3 日(日)まで休日ダイヤで運行します。

※根反線・平糖線の路線バス代替運行は、運休します。

☎町デマンド交通 ☎ 33-3000



お知らせ
油の流出事故にご注意ください
気が付いたら、すぐに通報を

毎年冬になると、家庭や事業所から灯油が流れ出す事故が起こりやすくなります。原因は、ホームタンクのバルブや配管が古くなっていること、除雪時にホームタンクや配管を壊してしまうこと、ホームタンクからポリ缶への小分けするときに目を離してしまうことなど、不注意による事故が多く発生しています。

事故が発生すると、側溝や水路を通じて河川に流れ出ることもあります。河川の水は水道用水などに利用されているため、下流で暮らす多くの人たちに、とても大きな被害が生じます。川の生き物や環境にも悪影響を与えてしまいます。

事故の処理にかかった費用は、油を流出させた個人や事業所が負担することになります。

お知らせ
コロナ禍でも医療機関
で必要な受診を

新型コロナウイルスの感染拡大により、医療機関の受診を控える傾向が見られます。過度な受診控えは健康上のリスクを高めてしまう恐れがあります。

持病の治療や予防接種・健診などによる健康管理はこれまでと同様に重要です。適切に医療機関を受診しましょう。

■医療機関や健診会場では、換気やこまめな消毒などの感染予防対策をしています。

■健康に不安があるときは、まずはかかりつけ医・かかりつけ歯科医に相談しましょう。

☎健康子ども課

☎ 32-3700 内線 608

油の流出事故を防ぐために、下記のことにご注意ください。

①ホームタンクからポリ缶に灯油を分けるときは、絶対にその場を離れず、目を離さずに作業しましょう。

②屋根からの落雪や除雪作業によるタンクの倒壊・破損などに注意しましょう。

③ホームタンクの本体や配管などが腐食していないか、バルブがきちんと閉まるかなど、定期的に点検をしましょう。

万が一、油の流出事故が起きてしまった場合や発見した場合は、すぐに水環境課や消防署、警察署などへお知らせください。

☎水環境課 内線 226

information
お知らせ

皆さんの暮らしに役立つさまざまな情報をお届けします。

一戸町役場 ☎ 0195-33-2111
〒 028-5311

一戸町高善寺字大川鉢 24-9

ホームページ

https://www.town.ichinohe.iwate.jp/index.html



開催
二十歳の門出を祝う
令和 2 年度成人式開催

令和 2 年度一戸町成人式は、広報 9 月号でお知らせした通り、下記の日程で実施します。案内の手紙は 11 月下旬に発送しましたので、まだ届いていない人は下記までお問い合わせください。

ソーシャルディスタンスの確保や消毒、換気など、新型コロナウイルス感染予防対策をして開催します。参加する皆さんもマスクの着用や手洗いなど、一人ひとりの感染予防対策をお願いします。

今後の新型コロナウイルス感染症の状況によっては、変更や延期などの可能性もあります。あらかじめご了承ください。

■日時 令和 3 年 1 月 10 日(日)
受付 12：45 ～
式典 13：30 ～

■場所 コミュニティセンター

■対象 平成 11 年 4 月 2 日から平成 12 年 4 月 1 日までに生まれた町民、および町立中学校卒業生
☎生涯学習課 内線 514

＋ 一戸町と近隣市町村の休日当番医 ■休日当番歯科医 — 診察時間 9:00 ～ 12:00 ■休日急患当番医 — 診察時間 9:00 ～ 17:00

月日	当番歯科医（管内）	電話	休日当番医（管内）	電話	休日当番医（岩手町）	電話
12/13	こしみず歯科クリニック	33-4618	川村医院	23-3252	沼宮内地域診療センター	62-2511
20	宮沢歯科医院	46-2953	いちのへ内科クリニック	33-2701	佐々木医院	62-2234
27	沢藤歯科医院	25-4002	齋藤産婦人科医院	23-2505	佐渡医院	62-3211
29					塚谷医院	62-1155
30	右門歯科クリニック	38-2288	カシオペア医院	23-3331	佐藤整形外科クリニック	68-7240
31	国香歯科医院（裏小路）	23-2223	ふくもりたこどもクリニック	43-3137	北上脳神経外科クリニック	61-3636
1/1			二戸クリニック	25-5770	さわやかクリニック	62-2043
2	ほんだ歯科クリニック	23-9591	すがわら消化器内科	23-2879	沼宮内地域診療センター	62-2511
3	菅歯科	23-5161	金田一診療所	27-2205	佐々木医院	62-2234
10	ぼっぼ歯科クリニック	31-1182	むらかみ医院いたみのクリニック	48-1500	佐渡医院	62-3211
11	菅原歯科クリニック	23-1180	ほそかわ小児科クリニック	26-8100	岩手沼宮内クリニック	61-2025
17	菅原歯科医院	27-3301	小野寺内科医院	33-2505	塚谷医院	62-1155

※当番医は変更になることがあります。事前に電話で確認してください。

町民割引券について

奥中山高原温泉と来田保養センターでは、町民の皆さんが利用しやすいよう、割引券を発行します。

点線で切り取り、フロントなどに提出すれば右記の料金になりますので、ぜひご利用ください。



■朝朱の湯大浴場

☎ 奥中山高原・来田温泉 町民割引券
(広報 12 月号—R3.1.31 まで有効)

この券で、下記の温泉の日帰り入浴（入浴のみ）を割引金額でご利用できます。
※本券 1 枚につき 1 人有効。

■煌星の湯・朝朱の湯
中学生以上 100 円 引き
小学生以下 50 円 引き

■来田保養センター
休館日 第 1 週、第 3 週火曜日
中学生以上 50 円 引き

☎ 奥中山高原・来田温泉 町民割引券
(広報 12 月号—R3.1.31 まで有効)

この券で、下記の温泉の日帰り入浴（入浴のみ）を割引金額でご利用できます。
※本券 1 枚につき 1 人有効。

■煌星の湯・朝朱の湯
中学生以上 100 円 引き
小学生以下 50 円 引き

■来田保養センター
休館日 第 1 週、第 3 週火曜日
中学生以上 50 円 引き

11/7 縄文リレーマラソン2020



10/31 お月見体験会



11/7 縄文リレーマラソン2020



11/7 秋のクリーンデー



11/7 縄文リレーマラソン2020



11/8 トローン操縦体験

縄文時代に触れて楽しむ「御所野縄文WEEK」。10月30日から11月8日までの10日間、御所野縄文公園を中心に、さまざまな体験イベントなどが行われました。最終日には、「御所野遺跡を含む北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界文化遺産登録を願い、町総合運動公園から花火が打ち上げられました。

G O S H O N O J O M O N W E E K

11/8 世界遺産登録祈念 打上花火



11/7 世界遺産登録祈願 神楽の舞



10/31 おいでよ縄文の森



10/31 おいでよ縄文の森



11/3 ヨガ体験



11/3 座禅体験



11/5 縄文給食

11/5 縄文給食

パラグアイ共和国代表と 東京2020パラリンピック事前キャンプに 関する『覚書』を締結しました



調印した覚書を披露する田中町長(左)とフロレンティン全権大使(右)

来年の東京五輪・パラリンピックに向け、パラグアイ共和国のホストタウンに登録されている当町と同国パラリンピック委員会が11月19日、パラリンピック競技で同国選手団の事前合宿を受け入れる覚書を締結しました。

町は昨年8月に内閣官房東京オリパラ競技大会推進本部からホストタウン認定を受け、事前キャンプの誘致に取り組んできました。現時点では、陸上と水泳の選手が大会に向けた調整のため、当町で事前キャンプをするほか、町民との交流事業も計画。

役場で開かれた締結式では、田中辰也町長と同国パラリンピック委員会会長から委任を受けたフロレンティン全権大使が覚書に調印しました。田中町長は「事前キャンプ地として可能な限りサポートする」と強調。フロレンティン全権大使は「選手が予選を通過し大会に参加できることを期待している。文化交流においても一戸町と友好な関係を築いていきたい」と述べました。



左_奥中山小学校を訪問し児童と記念撮影。児童たちは合唱などで歓迎しました
右_覚書を結んだ後、友好を願う肘タッチする場面も

編集後記

今月の特集は在宅医療。特集に出てくる言葉はよく耳にしていたが、中身まではほぼ無知の状態でした。私と同じようにあまり知識が無いという人たちに、少しでも関心を持っていただけなら幸いです。しつこい取材にも嫌な顔ひとつせずご協力いただいた皆さまへ改めて感謝いたします。▽今年も残り1カ月を切りました。1年を振り返ると、毎日「コロナ」という言葉を聞いていた気がします。イベントやスポーツ大会などが中止になったり延期になったりで、いまだに気持ちが沈んでいる人も少なくないはず。これからさらに寒さを増しますが、元気に新年を迎えられるよう、改めて一人ひとりが対策を実践しましょう。そして、来年も広報いちのへをよろしく願います。

まちづくり課 猪股 成介

●広報いちのへ 12月号の印刷経費は1部88円(税込)です



広報いちのへは、環境に配慮し、植物油インキとFSC森林認証紙を使用しています。

